

SLTセミナー 20回記念

SLTレーザーへの考え方と 実際の治療の変遷 —10年前と今—

第36回日本緑内障学会共催
モーニングセミナー2 (MS2)

日時 2025年9月13日(土) 7:50~8:40
会場 第4会場 (神戸ポートピアホテル 南館B1F エメラルド)
共催 第36回日本緑内障学会/
ルミバードメディカルジャパン株式会社

座長 新田 耕治 先生 (福井県済生会病院)

演者 片井 麻貴 先生 (NTT東日本札幌病院)
溝上 志朗 先生 (愛媛大学)
新田 耕治 先生 (福井県済生会病院)

本セミナーは2016年に第1回を開催し年2回の開催を継続し2025年で20回目を迎えました。

今回のセミナーは「SLTセミナー 20回記念」として、この10年間のSLTレーザーへの考え方と実際の治療の変遷を議論したいと思います。

かつては臨床効果に疑問が持たれていたSLTレーザー治療ですが、近年の臨床研究やLancetでの報告によりその有効性が再評価されてきました。

日本においても、筆者らが実施したNTGに対するfirst-line or second-line SLT study (FSS study) によりファーストラインやセカンドライン治療としての効果が確認され注目が高まっています。

今回はFSS studyにもご参加いただいた溝上志朗先生と片井麻貴先生をお迎えし、これまでのSLTへの評価の変遷と、最新の知見を踏まえた臨床応用についてご講演いただきます。

SLTによる治療戦略に関する視点を深め、緑内障管理におけるレーザー治療の位置付けを改めて考える機会として、ぜひご参加ください。

